



2026 年 9 月 14 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 荒 巻 拓 也
(コード番号：3 4 4 1)

問 い 合 せ 先 取 締 役 舟 橋 良 和
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

2026 年 7 月期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 3 月 13 日に公表した 2026 年 7 月期 (2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日) における通期の連結業績予想数値と本日公表の連結実績数値との差異の発生につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 7 月期通期連結業績予想値と実績値の差異 (2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	1,400	1,450	1,280	295.59
当期実績値(B)	15,531	1,315	1,319	1,181	274.75
増減額(B-A)	2,531	△84	△130	△98	
増減率(%)	19.5	△6.0	△9.0	△7.7	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 7 月期)	10,830	796	806	765	172.65

2 差異の理由

売上高は、産業機器向け分野において、生成 AI データセンター関連需要を背景に受注が好調に推移したことに加え、自動車向け分野においては ADAS 関連需要の拡大、通信関連部門において、PC、タブレット向けなど順調に推移するなど予想に比べ各分野での需要増加が継続したため、前回発表予想を上回りました。

営業利益はじめ各段階利益については、当社の主要となる材料である金の相場変動や、中東情勢の緊張およびインフレの影響などの原材料価格上昇に加え、将来を見据えた事業基盤の強化に資する積極的な人的投資・設備投資を実施したことから、前回予想を下回りました。

以上